

# ふき取り検査方法及び注意点

## ふき取り方法

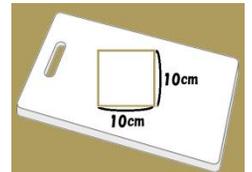
- ① 容器のラベルに検査箇所がわかるように検体番号を記載して、依頼書の品名欄に対応するふき取り箇所名（ふき取り場所名）を記載してください。
- ② キャップをはずし、胴体部分で綿棒の先部分を押し余分な滅菌希釈水を取り除いてください。
- ③ 検査したい場所や物をふき取ってください。  
※ ふき取りの強さは綿棒が軽くしなるくらいの力（約200g～250gの負荷）でふき取ります。



〔まな板・調理台、皿、ボール等の平面や曲面をふき取る場合〕

試料表面の一定面積（10cm×10cm＝約100cm<sup>2</sup>程度）をふき取ってください。

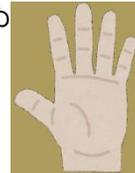
※ 綿棒を回しながら縦・横・斜めに満遍なく全面ふき取る事がポイント！



〔取手類や手指をふき取る場合〕

取手類（冷蔵庫・製氷機の取手、引き出し、水道の蛇口など）や手指の全面をふき取ってください。

※ 取手類は、裏側も忘れずにふき取る事がポイント！



- ④ ふき取った綿棒を容器内に入れて液が漏れないようにキャップをしっかり閉めてください。（冷蔵保管）
- ⑤ 検体発送は、依頼書を同封のうえ冷蔵便にて返送してください。



ふき取り方法の確認や、検査方法についてご不明なことが有りましたら  
最寄りの事業所へ連絡してください。

## 注意点

- ◆ 検査キットの綿棒の先は殺菌済みです。綿棒には絶対触れないでください。
- ◆ 検査キットの中の溶液をこぼさないようにご注意ください。返送時にも注意！
- ◆ 検査キットが到着して、ふき取り実施までは冷蔵で保管してください。絶対に冷凍にはしないでください。
- ◆ 検査キットの発送は無償ですが、ふき取り検体の本会への返送は有償とさせていただきます。
- ◆ 検査キットの追加発送は有償にて対応させていただきます。

※ ZOOMを利用したオンライン相談も承りますので、ぜひご利用ください。